

2014 3月号



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

60周年3・1ビキニデー集会熱気溢れる

大阪から五十名参加で

西淀川の
取り組み学ぼう

ポストンで
緊急会議開きます

歴史的な

3・1ビキニデー

あると同時に、二〇一五年NPT会議に向けて核兵器禁止条約を早期交渉開始させるスタート。歴史的な3・1

二十八日の日本原水協集会の各地域・団体で最終発言に大阪代表団を代表して堺原水協の平野安宣さんが決意表明を行いました。

第一分科会「二〇一五年へ！核兵器全面禁止を圧倒的な草の根の力で」では、西淀川労連の山本崇博さんが基調報告。西淀川区で憲法署名を三年間をかけて昨年住民過半数達成した経験を報告しました。「今度は、核兵器全面禁止のアピール署名の番です」

米フレンズ奉仕委員会のガソンさんは、「この日本の盛り上がりアメリカの団体二百に急いで知らせます。二〇一五年NPTでのニューヨーク行動の準備に全力をあげます」と決意を語り、その後これにこたえる発言が続きました

六十周年にふさわしい二千人の参加者で会場が用意されるほど、報告しました。熱気で包まれました。

大阪代表団

壇上で決意表明

日本原水協・安井事務局長は基調報告で

「この集会は、被災六十周年の歴史の節目で

大阪からは、近年では最高の五十名が参加

「この集会は、被災六十周年の歴史の節目で

「この集会は、被災六十周年の歴史の節目で

会場から大きな拍手が寄せられました。

全国の発言に大きな反響が



「核兵器全面禁止のアピール」署名

(2014年3月3日現在) 大阪100万署名めざして

43万1208筆

3月6日午後5時天王寺

「なくそう核兵器5・17府民のつとめ」

企画会議が精力的に続けられる

松井・広島市長
田上・長崎市長も賛同

二〇一五年NPT核不拡散再検討会議(国連ニューヨーク本部)に向けて、大阪から百万署名と百五十人以上の代表団を送る準備がすすめられています。この取り組みを大きくすすめるための「なくそう核兵器5・17府民のつとめ」が開かれます。会場はエルおおさかで午後一時三十分開始です。千人規模の集会を目指しており、会場あふれるほどの参加者を呼ぼうと、昨年末から企画会議を重ねられています。

ビラ・ポスターも完成まじかで、最終校正の段階に入っています。ビラには、賛同してくださいました松井・広島市長、田上長崎市長の顔写真も載っています。大学教授、弁護士、医師、文楽三味線奏者、落語家の幅広い

方がたが賛同されています。オープニングは「ぞうれっしゃ」

オープニングはぞうれっしゃがやってくる合唱団で府下六地域から参加します。元気な子どもさんとお母さんたちが舞台を作ってくれます。今から楽しみの方が企画委員会に寄せられています。



集会に賛同の方がた

- 松井一實(広島市長)
 - 田上富久(長崎市長)
 - ジョゼフ・ガーンソン(アメリカ)
 - コラソン・ファブロス(フィリピン)
 - 秋山豊寛(宇宙飛行士・京都造形芸術大学教授)
 - 奥本京子(大阪女学院大教授)
 - 安斎育郎(安斎科学・平和事務所所長)
 - 西谷文和(フリージャーナリスト)
 - 富田宏治(関西学院大教授・原水爆禁止世界大会起草委員長)
 - 大阪いずみ市民生活協同組合
 - 水野俊和(ヘルスコープおおさか理事長)
 - 竹澤園七(文楽三味線奏者)
 - 小澤カ(大阪府歯科保険医協会理事長)
 - 愛須勝也(ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟弁護団事務局長)
 - 高木孝裕(大阪宗教者平和協議会理事長)
- 敬称略第一次分—

原爆訴訟支援 学習会開催

2月20日、大阪弁護士会館で「ノーモア・ヒバクシャ訴訟学習会」が開催されました。近畿訴訟弁護団事務局の愛須



弁護士は、原爆被爆者医療分科会の「新しい審査の方針」について報告しました。非がん疾病(心筋梗塞、甲状腺機能低下症、慢性肝炎、肝硬変)については、「放射性起因性が認められる」という条件を削除。「爆心地から約2キロ以内で被爆した者」「原爆投下より翌日以内に爆心地から1キロ以内に入市した者」についてのみ積極的に認定されるに留まります。批判され続けてきた「放射線起因性が認められる」を削除し、前進とは言い難い内容となっています。